

株主・投資家のみなさまへ

[第39期 決算]のご報告 2017.4.1-2018.3.31

ごあいさつ 01

事業概況 02

建築TOPICS 03

土木·測量TOPICS 05

財務データ 07

グループ概要 09

FUKUI COMPUTER

日本の建設業をICTで支える、 福井コンピュータグループ。

福井コンピュータグループは、

建築・測量・土木のCAD製品のご提供を通じて、 建設業界全体へのICT(情報通信技術)の普及と 業界の経営効率化に幅広く貢献します。



福井コンピュータホールディングス株式会社 代表取締役社長

林 治克



株主・投資家のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上 げます。平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第39期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の事業内容などをご報告するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

第39期の業績におきましては、売上高、利益ともに過去最高を 更新し、当期純利益は6期連続で過去最高益を更新するなど、建築、 土木測量事業とも堅調に推移しております。このことは偏に皆様方の 力強いご支援の賜物と深く感謝し、謹んで御礼申し上げます。

なお弊社では、利益配分につきまして、「株主の皆様への利益還元

姿勢を重視し、安定的かつ継続的な配当を実施する]ことを基本方針 としております。

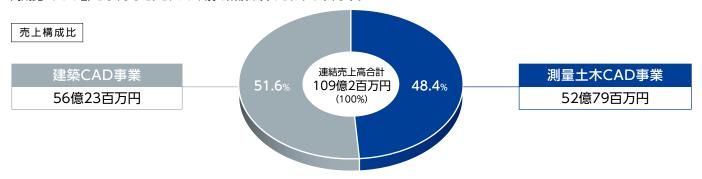
上記の基本方針に基づき、平成30年3月期の連結業績が当初 予想を上回る結果となりましたことなどを勘案し、株主の皆様への より一層の利益還元を図るため、当期の配当は前期より5円増額し、 1株当たり32円といたします。

今後とも、格別のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い 申し上げます。

平成30年6月

連結売上高109億2百万円、前年同期比9.3%增

当社グループ(当社及び連結子会社)における当連結会計年度の業績につきましては、売上高10.902百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益 3.687百万円(前年同期比18.4%増)、経常利益3.731百万円(前年同期比18.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2.423百万円(前年 同期比20.6%増)となりました。セグメント別の業績は次のとおりであります。



建築CAD事業

当連結会計年度は、新設住宅着工戸数が前年同期比で8ヶ月連続の減少 となり、住宅業界は消費増税前の駆け込み需要の反動減となった平成26年 に次いで低い実績となりました。特に当社グループのユーザーに大きく関連 する持家戸建の落ち込みが激しく、平成31年の消費増税前の駆け込み需要 に再び業界全体が期待を寄せている状況です。

このような厳しい状況の中で、平成29年7月に3D建築CADシステム 「ARCHITREND ZERO Ver.4 を発売しました。同時に連携可能な建材・ 設備と住まいの3Dシミュレーションサイト「3Dカタログ.com」スマートフォン・ タブレット対応版、リアルな没入感とアクティブな体験を追及したバーチャル 空間体感システム「ARCHITREND VR Ver.2」を発売し、また、9月には 国産BIM建築設計システム「GLOOBE 2018」を発売しております。

経済産業省が推進する「2020年までに、標準的な新築住宅でZEHを 実現する」政策は、エネルギー政策の定着と省エネ住宅の普及を推進し、 ビルダー・工務店の意識向上に大きく貢献しました。このような背景が、 省エネプレゼンシステム「ARCHITREND ZERO Ver.4 省エネナビ などの 省エネ関連商品を大きく後押ししました。加えて、平成28年度補正予算 で実施された[IT導入補助金2次公募]においては、IT導入支援事業者 としてビルダー・工務店へ導入支援を行った結果、第3四半期の売上を 押し上げました。また、10月は衆議院選挙が行われ、報道機関向け出口調査 システムの売上を計上しました。

この結果、建築CAD事業の売上高は5,623百万円(前年同期比11.3% 増)、営業利益は1.529百万円(前年同期比37.5%増)となりました。

測量土木CAD事業

国土交通省が推し進める、調査・測量から設計・施工・維持管理までの あらゆるプロセスでICT等を活用して建設現場の生産性向上を図る [i-Construction]は2年目を迎え、建設業界における3次元データの更なる 促進を目指し、当連結会計年度は「3次元アクションプログラム」を積極的に 推進してまいりました。

測量CADソフトウェアにおいては、3次元計測ニーズの増加に伴い、大容量 データや点群データをスムーズに扱うことができる64bitアプリケーション 「TREND-ONE」へのシステムチェンジの需要が大幅に増加しました。

またGNSS(Global Navigation Satellite System/全球測位衛星システム) 関連の機能を強化した現場端末システム「TREND-FIELD」を平成29年 8月にリリースし、契約件数が大幅に伸びました。

土木CADソフトウェアにおいてはi-Construction土工・舗装工に続き、ICT 浚渫丁に対応した3次元点群処理システム「TREND-POINT Ver5.11 を平成30年1月にリリースし、導入が引き続き好調に推移しました。新たな 3次元データ利活用の手法として、CIMコミュニケーションシステム 「TREND-CORE」で作成された3次元モデルデータと現況点群データを マッチングすることにより、既設の構造物等との干渉確認や計測業務の 大幅な効率化を実現しました。建設バーチャルリアリティシステム 「TREND-CORE VR」においては、点群データとVR融合の研究開発を進め ており、更なる生産性向上を求める建設市場からの期待は高まっています。

この結果、測量土木CAD事業の売上高は5,279百万円(前年同期比7.4% 増)、営業利益は2.171百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

リフォーム向け新商品 「ARCHITREND リフォームパレット」をリリース





国が進めるストック重視の住宅政策や築20年を超えた住宅の増加 に伴い、リフォーム市場は今後ますます拡大することが見込まれ ています。リフォーム業への新規参入の増加により、受注競争が一層 激しくなることから、住宅会社は、価格だけでなく提案内容の充実や 提案スピードなどへの対応も求められることが予想されます。弊社 では既存建物の写真をベースに、簡単にリフォーム後のイメージを作成 できる、リフォーム向けの新商品「ARCHITREND リフォームパレット」 を2018年7月にリリースいたします。実売されているメーカー建材 データが豊富に収録される[3Dカタログ.com]のデータを利用で きるため、本物の建材を使ったリフォームイメージを簡単かつスピー ディーに提案できるのが特徴。リフォーム業への新たなソリューション 提案を行ってまいります。

「3Dカタログ.com」、サービスの拡張で会員数が順調に伸長

「3Dカタログ.com | の2018年5月度における総会員数は40.000 人を超え、うち有料会員数は、約4.000社、7.000名に達しました。 この4月より販売店網における「有料会員サービス」の販売取扱いを 開始し、有料会員のさらなる増加を見込んでおります。また、スマート フォンに最適化したインターフェイスに一新するとともに、凸版 印刷(株)が運営するデジタルカタログサイト「i-Cata」との相互連携 を実現したことで、さらに利用者の幅を広げております。さらに、 建材メーカー様が運用していただける [専用サイト] の提供も行って おり、建材メーカー様のホームページや、実際のショールームなどで 「3Dカタログ.com」を運用する事例も増加。建材メーカー様や建材 商社様向けの新しいサービスとして積極的に提案を行っております。

●3Dカタログ.com https://www.3cata.com

3Dカタログ















国産BIMシステム「GLOOBE」に新機能「FM連携」を搭載



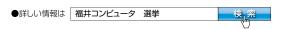
M連携を実現した「GLOOBE」



日本発のBIM建築システム [GLOOBE] は法的規制や外観デザイン、 平面計画など、建物用途や業態により異なる設計手法に対応した、 ビルや店舗などの設計に特化したCADシステムです。他社ソフト (構造・設備・解析など)との高い親和性で、実際の建物と同等の3D 建物モデルを構築でき、積算情報や時間軸の取込みで、正確な数量 や施工ステップの検討も可能となっています。今回この[GLOOBE] の新機能として、FM (Facility Management)と連携できる仕組み [FM連携]を新たに搭載しました。建物を建てるだけでなく、建物を 維持していく中でより質の高い管理が実現できるようになります。 新築から既存建物の維持管理へと発注者が望む時代を見据え、 弊社では「GLOOBE」がBIM-FMのプラットフォームとして広く普及 するよう取り組んでおります。

全国各地の選挙速報を支援してきた ソリューションのご紹介

福井コンピュータアーキテクト(株)ITS事業部では、2001年よりTV局や各新聞社 といったメディア向けに、国政選挙や地方選挙の当落予測を高精度かつスピー ディに行うソリューションを提供しています。各投票所における出口調査結果を モバイルネットワークを使って自動集計する「ワンクリックカウンタ」と、各開票所 における開票結果を手軽かつ正確に伝送できる「ピクタ」で、開票速報などの報道 番組や紙面づくりをバックアップしています。





【土木・測量TOPICS】

まだまだ広がる"i-Construction"

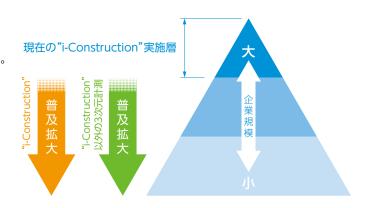
国土交通省が推し進める、調査・測量から設計・施工・維持管理までのあらゆるプロセスでICT等を活用して建設現場の生産性向上を図る "i-Construction"も3年目を迎え、2018年は「生産性革命 "深化の年"」と位置付けられています。また、政府が進める「働き方改革」とも絡み、新技術の採用、工種の拡大、地方自治体発注への適用と、"i-Construction" のさらなる普及が見込まれております。弊社では「普段使いの i-Construction」を合言葉に、建設現場の生産性向上に向け、工事規模にとらわれず日常的に3次元を活用していただけるよう、全国の測量 設計業者様、建設業者様へ当社ソリューションのご提案をしてまいります。

発注量の拡大

国土交通省直轄工事においては、2016年度に584件、2017年度 (2月時点)は800件以上の対象工事が発注され、2018年度においても 前年度を超える対象工事が発注されることは確実視されています。

地方自治体への拡大

国土交通省における対象工事の増加にともない、"i-Construction" は地方自治体へと広がりをみせています。公共事業の約2/3は地方自治体の発注であり、さらなる拡大を目指すための中小企業への支援策も展開されることから、"i-Construction"の裾野は確実に広がっていくと考えられ、弊社の多くの測量ユーザー様においても"i-Construction"への対応が求められることになります。



対象工種の拡大

2018年度より対象工種は「ICT浚渫工(河川)」「ICT舗装工(コンクリート舗装)」にも拡大されただけでなく、法面処理工や修繕分野における舗装工、官庁営繕分野でも試験的導入が開始されるなど、建設業におけるICT化は年々加速しています。

公共事業ライフサイクルを広くカバーする福井コンピュータ製品





拡大する"i-Construction"を見据えた測量CADシステム



国土地理院より、測量新技術に対応したマニュアルが公表されるなど、 測量分野においても"i-Construction"が広がりつつあります。今後 "i-Construction"は、地方自治体の発注工事においても実施され ていく計画であり、測量会社、建設コンサルタント会社様においても 対応が迫られています。弊社では、この6月に測量新マニュアルに 対応した測量CADシステム「TREND-ONE Ver.2」をリリースし、 測量業務の"i-Construction"をいち早くサポートしています。



点群データを活用したバーチャルリアリティシステム(開発中)

圧倒的な"没入感"を体験できる今話題のVR技術。弊社の3D-CADシステム「TREND-CORE」で作成した3次元計画モデルデータと、施工前の現況(3D点群)データを重ね合わせることで、工事の着工前に臨場感のあるリアルなシミュレーションが可能となります。これにより、設計や施工上の問題点をよりリアルに事前検討することができ、2次元図面では気づけなかった無駄なコストを削減することができます。弊社では、工事着手から竣工までを3次元により支援し、建設業界のIT化を提案してまいります。









データ提供元: YDN(やんちゃな土木ネットワーク)

電子黒板付き工事写真を撮影するスマホアプリ

国土交通省の直轄工事から始まった「工事写真の小黒板電子化」は、地方公共団体発注の工事においても運用され始めています。小黒板電子化とは、これまで現場にてチョークで書き込んでいたのに代わり、スマホなど改ざん検知機能を有したデジタル端末で撮影し、その写真に自動的に組み込まれる"電子"の工事黒板となります。弊社が今年3月にリリースしたAndroid対応アプリ「どこでも写真管理Plus」は、月300を超えるペースでダウンロードされ、全国の建設会社様でご愛用いただいております。







財務データ〈連結財務諸表〉

連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

科目	前 期 (H29.3)	当 (H30.3)	増減
資産の部			
流動資産	12,246	8,812	△ 3,434
現金及び預金	9,740	6,269	△ 3,470
受取手形及び売掛金	1,704	1,620	△ 83
その他	801	921	120
固定資産	4,699	4,853	154
有形固定資産	2,558	2,513	△ 44
無形固定資産	49	51	1
投資その他の資産	2,091	2,288	197
資産合計	16,946	13,666	△ 3,280
負債の部			
負債の部 流動負債	4,405	4,563	157
	4,405 295	4,563 342	157 47
流動負債	,		
流動負債 固定負債	295	342	47
流動負債 固定負債 負債合計	295	342	47
流動負債 固定負債 負債合計 純資産の部	295 4,700	342 4,905	47 204
流動負債 固定負債 負債合計 純資産の部 株主資本	295 4,700 11,512	342 4,905 7,912	47 204 △ 3,599

連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

科目	前 期 (H29.3)	当 期 (H30.3)	増減
売上高	9,970	10,902	931
売上原価	1,901	2,199	298
売上総利益	8,069	8,702	633
販売費及び一般管理費	4,954	5,015	61
営業利益	3,114	3,687	572
営業外収益	38	44	5
経常利益	3,153	3,731	577
特別損失	8	_	△ 8
税金等調整前当期純利益	3,145	3,731	585
法人税等合計	1,136	1,307	171
当期純利益	2,009	2,423	414
親会社株主に帰属する当期純利益	2,009	2,423	414

連結包括利益計算書(要旨)

単位:百万円

科目	前 期 (H29.3)	当 期 (H30.3)	増減
当期純利益	2,009	2,423	414
その他の包括利益	△ 103	114	217
包括利益	1,906	2,538	631

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 単位:百万円

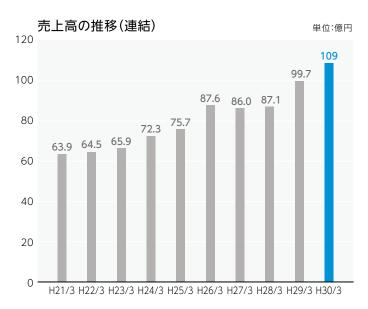
科目	前 期 (H29.3)	当期 (H30.3)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,729	2,707	△ 22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 89	△ 155	△ 65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 459	△ 6,022	△ 5,563
現金及び現金同等物に係る換算差額	_	_	_
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	2,180	△ 3,470	△ 5,651
現金及び現金同等物の期首残高	7,559	9,740	2,180
現金及び現金同等物の期末残高	9,740	6,269	△ 3,470

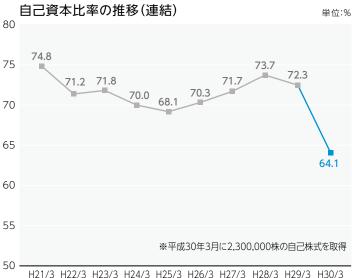
平成31年3月期 業績予想(連結)

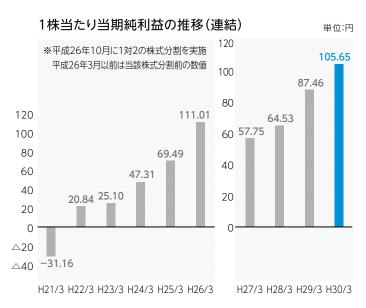
単位:百万円

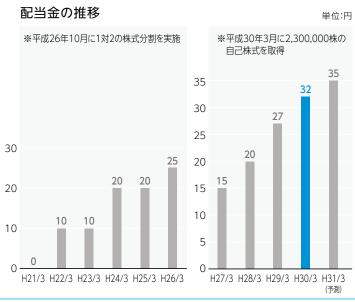
科目	平成30年3月	平成31年3月 見込	増減率
売上高	10,902	11,080	1.6 %
営業利益	3,687	3,710	0.6 %
経常利益	3,731	3,740	0.2 %
親会社株主に帰属する当期純利益	2,423	2,430	0.3 %
1株当たり当期純利益(円)	105.65	117.53	
1株当たり配当金(円)	32.00	35.00	











グループ会社概要 (2018年6月現在)

福井コンピュータグループ

福井コンピュータホールティングス株式会社

本 社 福井県福井市高木中央1-2501

T910-8521

TEL. (0776) 53-9200 (代)

設 立

昭和54 (1979) 年12月17日

資 本 金 事業内容 16億3,170万円

子会社の運営管理等

代表者

代表取締役社長 林 治克 取 締 役 会 長 堀 誠 取 締 役 佐藤 浩一

橋本 彰

社外取締役 高橋 勝

(監査等委員) 品谷 篤哉

神田 輝生

堀 誠一郎

執 行 役 員 坪田 信

福井コンピュータアーキテクト株式会社

本 社 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

T910-0297

TEL. (0776) 67-8850 (代)

立 平成24 (2012) 年7月2日

資 本 金 1,000万円

事業内容 建築CADソフトウェアの開発

及び販売

代表者

代表取締役社長 佐藤 浩一

 締
 役
 橋本
 彰

 杉田
 直

監 査 役 五十嵐 晃

執 行 役 員 下河 幸栄

稲田 英二 野坂 寅輝

塚本 卯郎

福井コンピュータ株式会社

本 社 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

〒910-0297

TEL. (0776) 67-8860 (代)

立 平成24 (2012) 年7月2日

資 本 金 1,000万円

事業内容 測量、土木CADソフトウェアの開発

及び販売

代表者

| 代表取締役社長 杉田 直 | 常務取締役 田辺 竜太

取 締 役 佐藤 浩一

橋本 彰

監 査 役 五十嵐 晃 執 行 役 員 荒川 良照





福井コンピュータスマート株式会社

社 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

T910-0297

TEL. (0776) 67-8880 (代)

設 平成25 (2013) 年7月1日 $\dot{\nabla}$

資 本 金 1,000万円

事業内容 コンピュータソフトウェア操作指導

の請負

代 表 者 役員構成

本

代表取締役社長 風間 嘉浩

取 締 役 佐藤 浩一 橋太

> 杉田 直

役 五十嵐 晃 杳

福井コンピュータシステム株式会社

本 社 福井県福井市高木中央1-2501

T910-8521

TEL.(0776)53-9250(代)

設 昭和51 (1976) 年3月26日 $\overrightarrow{\nabla}$

資本金 5,000万円

事業内容 建築用パッケージソフトウェアの

開発及び販売

代 表 者 役員構成

代表取締役社長 松井 締

取

役 佐藤 浩一 橋太

監 役 五十嵐 晃 杳

その他

従業員数

530名 (グループ全体正社員)

営業拠点

- 北日本営業所 (宮城) □ 札幌オフィス □ 盛岡オフィス
- 北関東営業所(埼玉) □ 水戸オフィス □ 新潟オフィス □ 長野オフィス □ 宇都宮オフィス □ 高崎オフィス
- 関 東 営 業 所 (東京) □ 横浜オフィス □ 千葉オフィス
- 中 部 営 業 所 (愛知) □ 岐阜オフィス □ 静岡オフィス □ 福井オフィス
- 関 西 営 業 所 (大阪) □ 京都オフィス □ 神戸オフィス
- 中四国営業所 (広島) □ 岡山オフィス □ 山□オフィス □ 高松オフィス □ 松山オフィス
- 九 州 営 業 所 (福岡) □ 熊本オフィス □ 大分オフィス □ 宮崎オフィス □ 鹿児島オフィス □ 沖縄オフィス



株主メモ

業 年 度 毎年4月1日~翌年3月31日まで

■ 定 時 株 主 総 会

毎年6月

基 進 Н 定時株主総会·期末配当:毎年3月31日/中間配当:毎年9月30日

■ 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵 便 物 送 付 先 (電話照会先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に□座がないため特別□座が開設されました株主様は、特別□座の□座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定しない漢字等が含まれている場合は、 その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物 の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、 お取引の証券会社等にお問い合わせください。

このIR資料の内容は、インターネットでもご覧いただけます。

www.fukuicompu.co.jp 福井コンピュータ

Q検索L

福井コンピュータホールティングス株式会社

本社: 〒910-8521福井市高木中央1-2501 TEL (0776) 53-9200 FAX (0776) 53-9201

証券コード: 9790